

行歯会だより 第151号

(行歯会=全国行政歯科技術職連絡会) 令和2年2・3月合併号



1 口腔衛生学会 ミニシンポジウム

歯科口腔保健施策はどう作られているか？行政の歯科職種の仕事
～都道府県の立場から、あるいは滋賀県における歯科保健医療の取組～

滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 主査 若栗真太郎

2 都道府県世話役のつぶやき ～秋田県・千葉県～

● 秋田県

秋田県健康福祉部健康づくり推進課
技師 田所 大典

● 千葉県

千葉市美浜区役所保健福祉センター健康課
主任歯科衛生士 菊池 薫

1 「口腔衛生学会 ミニシンポジウム」

歯科口腔保健施策はどう作られているか？行政の歯科職種の仕事
～都道府県の立場から、あるいは滋賀県における歯科保健医療の取組～

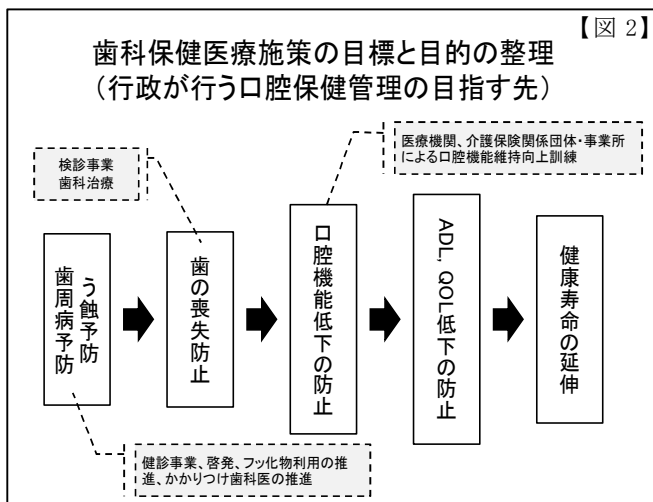
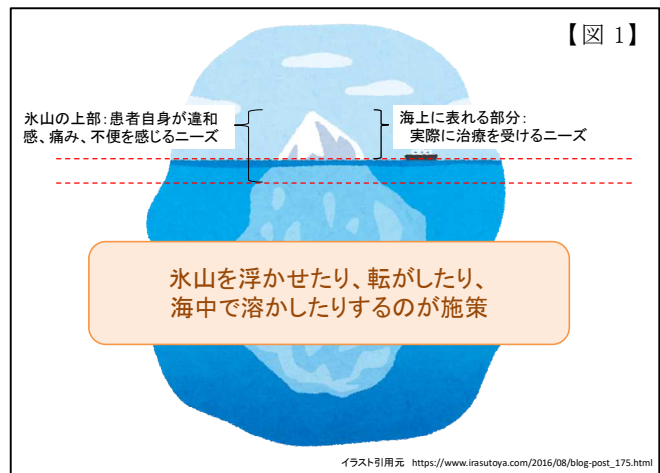
滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 主査 若栗 真太郎



令和元年5月22日に開催されました、日本口腔衛生学会・総会のミニシンポジウムに、ミニシンポジストとして参加させていただきました。東北大学の相田潤先生による第1報、市原市の高澤みどり氏の第2報に続きまして、都道府県の立場からの報告内容をお伝えします。

当日の参加者は将来行政職を目指す大学院生が多いと予想されると聞いていたため、行政(県)の仕事はどのようなことを行うのか大まかにイメージを掴んでもらおうと、自分が認識している行政の仕事のモデル的な概念を示すことにしました。(蓋を開けてみれば、どちらかというと同業者または大学教員関係者が多く、諸先輩方や大学の先生様の前で浅慮を晒す格好となり、冷や汗をかきました。また一枚、面の皮が厚くなり、貴重な機会と事前情報をいただいた代表世話人である相田先生にはいつも感謝でいっぱいです^^)

はじめに、いわゆる①Normative needs, ②Felt needs, ③Expressed needs の分類を氷山の一角の例えを用いて、氷山を浮かせたり、転がしたり、海中で溶かしたり（時には見なかったことに）することが行政の施策と説明させていただきました【図1】。今、説明を追加できるのであれば、氷山の全容を把握することも行政の大事な仕事のひとつだと感じています。



次に、行政の保健医療施策の目的を「健康寿命の延伸」と設定した場合の、代表的な歯科保健施策の位置づけと目標を簡略化して示しました【図2】。歯科保健施策実施のロジックを整理するとともに、「口腔機能」や「生活の質」という概念が導入されてきたことで、歯科保健医療の担う役は、う蝕による痛みの除去、う蝕や歯周病で喪失した歯牙の形態回復、欠損補綴に留まらず、ヒトの生き方、死に方にまで大きな影響を与えるものとして重要であるとお伝えしたかったものです。

とりわけ、歯を失う二大疾患であるう蝕、歯周病対策が行政の施策としても重要になってきますが、昨今は政策にもエビデンスが求められていますので、有効性が一定以上確認されている各対策を表示し、加えて、各取組状況に対する個人的な見解も挟ませていただきました【図3】。発表後には、歯周病対策のコミュニティケアのひとつとして、「禁煙のための法律、条例」の制定を表に加えることができるとの貴重な御意見もいただきました。翌日の日本口腔衛生学会・総会のシンポジウムでも使用するスライドでしたので、早速反映させていただきました。私にとって、なんとメリットの多いミニシンポジウムだったことでしょうか。感謝しかありません。

【図3】

口腔保健管理の担い手と、
有効な歯科疾患(う蝕と歯周病)の予防対策

	う蝕	歯周病	
コミュニティケア (地域や国などを 単位とした集団)	フッ化物洗口	なし	自治体の実施主体となって 施策を直接実施
	フッ化物歯面塗布		
	水道水フッ化物イオン化		
セルフケア (個人)	フッ化物配合歯磨剤	歯ブラシおよび 歯間部清掃具の使用	個人が実施しやすいよう、自治体が工夫 (啓発にとどまらない...)
	砂糖の適正摂取	喫煙しない	
プロフェッショナル ケア(専門家)	シーラント	専門的口腔清掃	受診の妨げになっていることを 見極め、必要な対策を検討 (ちよつと弱腰)

また、平成9年3月3日付け厚生省健康政策局長通知による「都道府県及び市町村における歯科保健業務指針について」を引用しながら、都道府県と市町村の担う業務と役割の違いを整理させていただきました【図4】。行政職を志望する学生が今後受けるであろう、都道府県、市町村それぞれの採用試験(特に面接)において、志望動機を回答する際、矛盾や沈黙が生じないように、僭越ながら私の苦い経験を踏まえた小粋なはからいの意も含めていましたが、該当者はいた

かしらん。

それはともかく、この業務指針はいつ改定されるのでしょうかね(*´艸`)

【図 5】

滋賀県が取り組む体制整備のための施策

(1) 啓発体制
リーフレットの作成、住民イベントの実施、研修会の開催

(2) 健診体制
母子保健法による健診、学校保健安全法による健診、職域における健診、健康増進事業による健診、特定健診、後期高齢者医療制度による健診、障害者(児)への健診

(3) 治療体制
訪問歯科医療実施医療機関の増加、障害者歯科医療を実施する歯科医療機関の確保、歯科医療機関の診療情報の収集、HIV感染症患者への歯科医療の確保

(4) 関係者との連携
多職種連携推進のための会議、二次保健医療圏域における連絡調整会議の開催

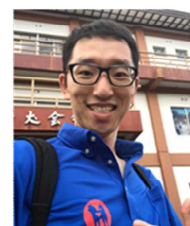
最後に、滋賀県における歯科保健医療体制整備のための具体的な取組範囲（スライド下線部）を示して、私からの報告を終えさせていただきます【図 5】。

行政に入職して8年目、そのうち県庁で歯科口腔保健の推進に関する施策に携わるようになって4年目になりますが、さすがに若手と名乗るには厚かましい世代になってきて、今回のような他人様に自身の業務の紹介を行う機会が巡って参りました。スライドを作成しながら、これから行政職を目指す優秀な学生、若手を増やすためにも、自分の仕事に価値を見出し、体系的に整理しておくことは大切だと感じました。行歯会の皆様とは、今後とも情報、認識、価値観を共有、交換させていただくとともに、御指導御鞭撻いただきますようよろしくお願いいたします。

2 都道府県世話役のつぶやき

～秋田県～

秋田県健康福祉部健康づくり推進課
技師 田所 大典



●世話役のつぶやき

行歯会会員の皆様、いつも大変貴重な情報提供をいただき感謝申し上げます。大変光栄なことに、今年度だけで「行歯会だより」への投稿は第146号（令和元年9月号）、第149号（令和元年12月号）に続き3度目となりました。

私自身、行政職としてももうすぐ3年目を終えようとしている今、改めて歯科専門職としての役割について再考している日々です。当県は最も高齢化が進んでいる県であることから、今後は旧来の健康づくりのように保健セクターのみに留まらず、多様な協働を通じて環境整備をしていくこと、いわゆる0次予防についてもより一層取り組んでいく必要があると思います。そのために、データと技術を駆使して未来の社会の課題やニーズが見える化し、解決に寄与できるよう、文理共学、産官学連携、国際連携を通じ、世界に先んじて超高齢社会となりつつある東北地方から実践に根ざした医療・保健・介護の政策の立案及び実施、高齢者の医療・福祉の関連経費を抑制できる効率的かつ包括的な社会システムの構築など、新しい形の保健医療として展開していけるよう取り組んでいきたいと考えております。

●秋田県の最近のトピックス

詳細は各号をご覧くださいただければ幸いです。当県の最近のトピックスと言えまさに「夏ゼミ（第146号）」及び「むし歯予防全国大会（第149号）」の開催です。全国の皆様を当県にお招きすることで、他都道府県の皆様との繋がりの中で数多くの学びを得ることができていると改めて実感しております。

そうした学びを糧に、来年度は国民健康・栄養調査に併せ、県民歯科疾患実態調査としてアンケート及び口腔診査を実施する予定としております。平成29年度の総務省統計局の家計調査によると、秋田県は鹿児島県、鳥取県に次いで全国3位の砂糖消費量であるようです。また、平成30年度の文部科学省の学校保健統計調査によると、秋田県の肥満傾向児の出現率は、男子、女子ともに全ての年齢において全国平均を上回っています。さらに、平成30年度の厚生労働省の人口動態統計によると、秋田県は徳島県、青森県に次いで全国3位の糖尿病による死亡率であり、がんにおいては全国1位の死亡率です。そうした状況からも、今後は歯科単独の施策ではなく、栄養施策等と連携し、砂糖対策も取り組んでいくためのきっかけとしたいと考えております。前回の平成28年度調査からどのような変化が生まれるか楽しみであると同時に不安でもあります。現状としてしっかり分析し、施策や計画に反映してまいりたいと考えております。

引き続き御指導いただけるようよろしくお願いいたします。

～千葉県～

千葉市美浜区役所保健福祉センター健康課
主任歯科衛生士 菊池 薫



●世話役のつづやき

101名の歯科衛生士

本県は、54市町村のうち37市町に101名の歯科衛生士が配置されています。勤続年数0～4年の歯科衛生士が一番多く29名（28.7%）、次いで5～9年の方が17名（16.8%）、平均勤続年数は14.3年「平成31年4月1日現在」と若い世代が多い、未来に希望がもてる県です。

定期的な情報交換・勉強会の場を作りました。

わが市は、6行政区。人口約98万人。歯科衛生士9名中、再任用を含む勤続年数35年以上が5名と世代交代の時期真只中。しかし、本庁、6区健康課、市教委それぞれが一人配置ゆえ、同職種間で学び合う機会が日常的にありません。そこで、ここ数年の念願であった定期的に情報交換・研修の場をもつ「千葉市職員歯科衛生士会」を発足しました。積極的な会の運営が異なる世代間の親睦を図る。コミュニケーションを多くする中で、“配慮はしても遠慮はしない”意見交換ができるようになる。信頼関係が構築された中での人材育成を通して、お互いが学び合い、スキルアップを図ることをめざした会です。

今後、今以上に皆がワンチームとなって住民の健康づくり、幸せに暮らせる場であるまちづくりに寄与できるようになりたいものです。

昨年度に続いて4月には、新人が採用されますので、「市区町村歯科衛生士新任期人材育成ガイドライン」と、本県の若手歯科衛生士千葉県新任期歯科衛生士の会（CFDH）が作成してくれた「千葉県市町村新任期歯科衛生士ポートフォリオ」を活用させて頂き、会を進めていきたいと思っております。

●最近のトピックス

千葉市オリジナル「100年ダンス」公開イベントの実施

本市は、幕張メッセホールが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレスリング、フェンシング、ゴールボール等の会場であること、令和3年度が「市制100周年」になることに合わせ、様々な取組を行っています。

2月22日(土)には、千葉市健康大使の千葉真一さん(日本の俳優。新田真剣佑さんらの父)監修のもと、スポーツエンターテイメント集団「ハッスル★マッスル」が製作した千葉市オリジナル「100年ダンス」の公開撮影イベントに様々な衣装の老若男女80名程が集まり、ダンスを踊ってくれました。

ラジオ体操や高知市「いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操」をまねた「ちばし いきいき体操(運動編・口腔編)」同様に、このダンスが、「誰もが手軽に楽しく運動習慣を身につけるためのきっかけづくり」のツールとして広まってほしいものです。今後は、SNS等で発信、PRしていく予定ですので、皆様も是非、ご覧いただければ幸いです。

3月になり、各種事業が中止・延期となっていく、公立小・中・高校が休校になりました。

あ〜。新型コロナウイルスはいついなくなってくれるのか?

東京2020オリンピック・パラリンピックが無事開催されることを願うばかりです。

(※今号発行直前に、東京オリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルスの影響で延期となりました。(編集担当))

♪編集後記♪

今月号より行歯会便りの副担当をさせていただきます。個人的なことで恐縮ですが、我が家では全国の水族館巡りをしています。年末は広島みやじま水族館、先月は京都水族館に行ってきました。

新型コロナウイルス肺炎の一刻も早い終息を祈念します。(N)

春なのに三寒四温(正しくは、冬の言葉)で、服装も冬と春を行ったり来たりの毎日です。気温の変化に体調を崩さないように、年度末から新年度を無事に越えられますように。

(Y)

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集!

「歯っとサイト(歯科口腔保健の情報提供サイト)」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている窓口宛にご連絡ください。